

THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS  
**日刊建設工業新聞**  
 2024年(令和6年) 1月30日(火) 第20786号

<b>展望2024</b> 海外も視野に戦略実行へ 高松 孝年社長 イチケン 長谷川 博之社長 特色あるゼネコン目指す	<b>外国人材 転籍制限2年まで容認</b> 激変緩和へ産業分野別に設定 新制度で政府方針案	<b>きょうの紙面</b> 地方の発展として建設に貢献 国土上のありのままを保護	<b>標準業務費 調査開始</b> 国交省、業務委託先を公募	<b>防水工事</b> 高山水工業株式会社	<b>トンネルと地下</b> 月刊工事情報	<b>基礎工</b> 最近の近接施工	<b>交通小六法</b> 公共建築工事 積算基準の解説	<b>建築解体工事 解体仕様の解説</b> 令和4年度 同解説令和5年度	<b>公共建築工事 標準仕様書</b> 令和4年度 同解説令和5年度	<b>建築解体工事 解体仕様の解説</b> 令和4年度 同解説令和5年度
--	--	--	-----------------------------------	--------------------------	--------------------------	-----------------------	--------------------------------	---	---------------------------------------	---



## イチケン 長谷川 博之社長

### 特色あるゼネコン目指す

今期は好調に推移しており、通期業績予想も増収増益の見通しだ。大型の物流倉庫を受注し、手持ち工事も繰り越してきている。コロナ明けの経済回復で停滞していた民

間の設備投資が戻ってきてお  
 り、2023年度から3カ年  
 の中期経営計画は良好なスタ  
 ートを切れた。ただ、利益率  
 はコロナ前の水準に戻ってい  
 ない。建設業の「2024年  
 の分野を伸ばしていく」  
 問題」もあり、労務費がさら  
 に増える可能性がある。予断  
 を許さない状況が続く。

当社は商業施設が売上の7  
 割程度を占めており、はまだ  
 だ商業施設のニーズがあると  
 みる。近年は小売業の事業者  
 から店舗ではなく物流倉庫を  
 依頼されるケースも増えてき  
 た。商業施設に強い特色ある  
 ゼネコンとして、引き続きこ  
 の分野を伸ばしていく。

建設業界の課題としては技  
 能労働者の不足と高齢化が否  
 めない。対策として、22年に  
 立ち上げたベトナム現地子会  
 社で2D図面の3D化に取り  
 の高い案件の受注に向けた営  
 業活動も強化する。

現在、子会社では当社案件の  
 50〜60%をBIM化している  
 が、将来的には全案件を行う  
 予定だ。BIM化が追いつか  
 ない同業他社の案件を請け負  
 うことも視野に入れていく。

時間外労働の上限規制が迫  
 る中、限られた人材で生産性  
 を高めて業務を遂行しなくて  
 はいけない。IT機器やサー  
 ビスはどんどん導入し、現場  
 の写真整理などを本社や支店  
 で支援している。より採算性

ゼネコン

